

11月7・8日は

あやべ産業まつりに行こう!

恒例の秋の一大イベント「あやべ産業まつり」(同まつり実行委員会主催)が11月7・8日に開催されます。好評のあやべB級グルメフェアをはじめ、地域農産物や加工品などの販売、商工業者の製品販売・展示などさまざまな催しが行われます。

地域の魅力・味覚を楽しむ あやべ産業まつり

日 11月8日(日)
時 午前10時～午後3時
場 西町アイタウン(西町)

会場では▽地元農産物や特産品などの販売▽リサイクル・リユースマーケット▽綾部工業団地立地企業の製品展示や子ども向け企業PR▽木工教室などを実施。スタンプラリーやビンゴゲーム大会のほか、和太鼓の演奏やダンスなどのパフォーマンスも行われます。

あやべ食育・すこやかフェスティバル
保健福祉センター(青野町)で同日開催



アイデアグルメに舌鼓 あやべB級グルメフェア

日 11月7日(土)
時 午前10時～午後3時

場 あやべグンゼスクエア広場(青野町)
綾部の産品を使用したオリジナル料理が味わえます。当日は16店舗が出店予定。

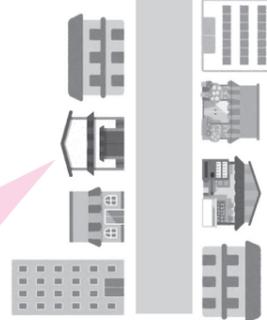


工夫を凝らした料理でどの店舗も大にぎわい

会場へはバスのご利用を

期間中は、由良川花庭園(青野町)や府総合庁舎(川糸町)などに無料駐車場を確保。8日は、駐車場から会場までを結ぶ無料シャトルバスを運行するほか、あやバスも全線無料で運行します。駐車場は混雑が予想されますので、会場へのお出掛けにはバスをご利用ください。

新鮮な農産物や手作りの加工品が並ぶ



善聞語録



68

大往生

父が逝った。いつもと変わらぬ朝食を摂った後、デイスーツへの車に乗り込む際に突然意識を失い、そのまま帰らぬ人となった。取り立てて苦むこともなく、さほど他人の手を煩わせることもなく、享年91の大往生であった。大正昭和、平成にわたる人生を全うし、多くの人に惜しまれながら見送られたことに感謝の気持ちで一杯である。

立場上、毎日のように市民の訃報を受け取るが、思いを変えると、そんな一片の書類にもそれぞれの人生ドラマが透けて見えてくる。

謝の気持ちで一杯である。立场上、毎日のように市民の訃報を受け取るが、思いを変えると、そんな一片の書類にもそれぞれの人生ドラマが透けて見えてくる。

「生者必滅は世の習い」の通り誰もが例外なく死を迎える。だからこそ、如何に長く、よりも、如何に生きるか、に拘りたい。父は急逝のため辞世の句など残すこともなかった。惜しむらくは市長就任後、同じ屋根の下に住みながら落ち着いて談を交わす暇もなかったことが心残りではあるが、故人がこよなく愛したふるさと綾部のために自らの職責を全うすることが、今となっては一番の供養になると意を新たにしている。

山崎善也(綾部市長)

くめざそう健康長寿 新たに介護予防・日常生活支援総合事業が始まります

市は平成29年4月までに、現在全国一律の基準で行っている「介護予防給付サービス」の一部を、独自に実施する「介護予防・日常生活支援総合事業(以下、総合事業)」に移行。市がさまざまなサービスを提供することで、利用者が状態に応じた、きめ細やかな支援を受けられます。

より多様に、対象者も拡充

新しいサービスに移行するのは、現在「要支援」の認定を受けた人が利用する介護予防給付サービスのうち、訪問介護(ホームヘルパーの利用)と通所介護(デイサービスの利用)の2つ。それらを市が「総合事業」として主体的に行うことで、より柔軟な取り

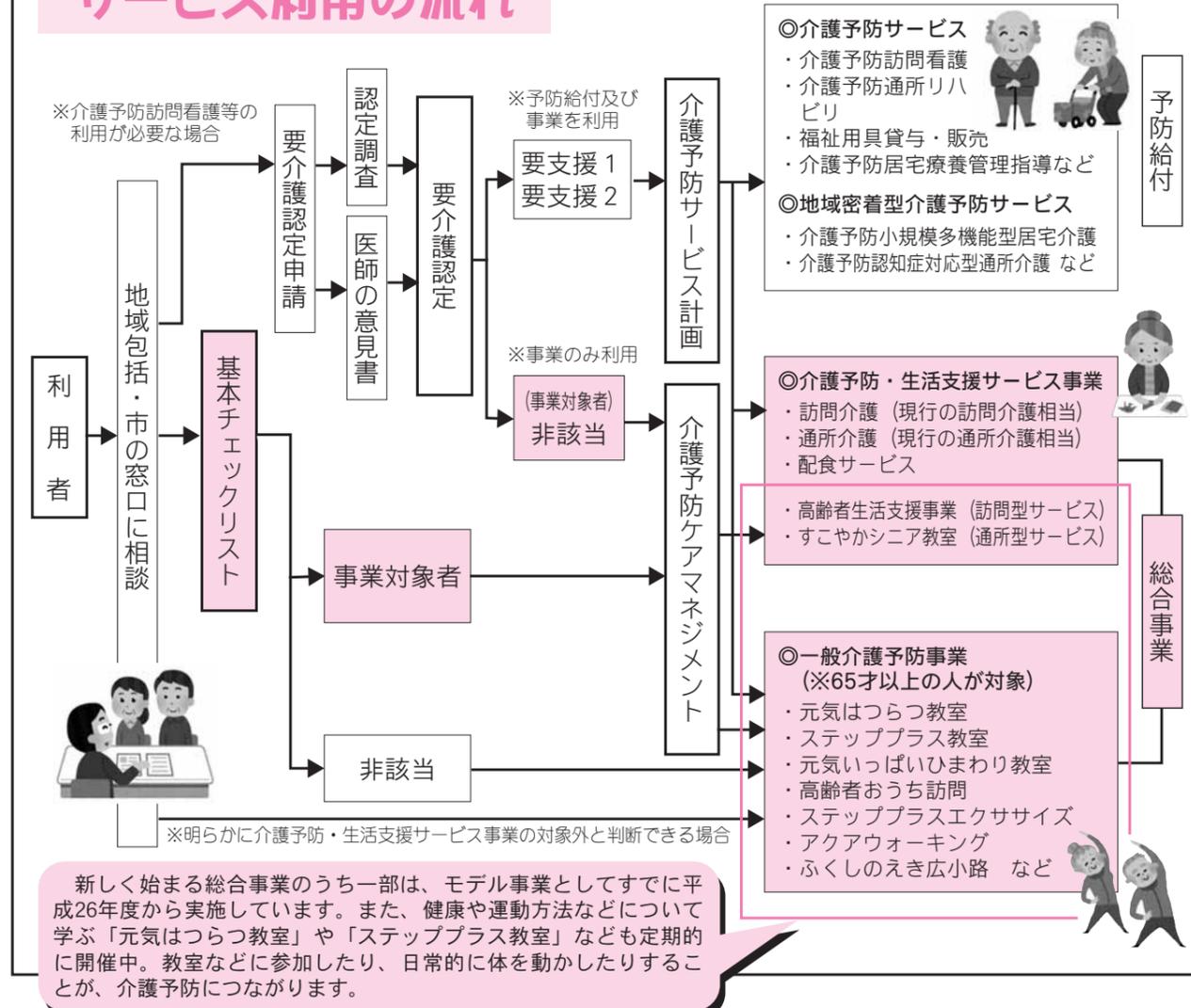
組みが実施できます。

また、訪問介護や通所介護は今まで要支援認定者のみが対象でしたが、基本チェックリストで生活機能の低下がみられる「事業対象者」もサービスが受けられるようになります。

介護予防ですこやかな生活を

「要支援」とは、「介護は不要であるが、将来的に必要な可能性がある状態」のことで、生活機能が改善する可能性の高い人などが該当します。今のうちから介護予防の支援を受け、体の機能をできる限り保つことが大切です。制度の概要や支援の相談など、詳しくは、地域包括支援センター(高齢者介護課内) ☎(42)4262へ。

サービス利用の流れ



新しく始まる総合事業のうち一部は、モデル事業としてすでに平成26年度から実施しています。また、健康や運動方法などについて学ぶ「元気はつらつ教室」や「ステッププラス教室」なども定期的に開催中。教室などに参加したり、日常的に体を動かしたりすることが、介護予防につながります。



トチの実たくさん採れたよ!

古屋でがんばろう会（秋山道男代表）は9月6日から、6回にわたり睦寄町の水源の里・古屋でトチの実拾いを開催しました。19日は市内外から75人のボランティアが参加。「大きいの見つけた!」「ここにもたくさんあるで」と声を掛け合いながらひとつひとつ袋に収め、全員で208kgもの実を収穫しました。収穫した実は、おかきやあられ、とち餅などの特産品に加工されます。



グンゼスクエアで「手作り市」

青野町のあやベグンゼスクエアで9月20日、「あやペde手作り市～里山でARTを実感～」が初めて開催されました。小物や衣類、アクセサリなど、市内外から34店舗の出店があり、会場はお気に入りの品を選ぶ家族連れなどでにぎわいました。

綾部の特産「丹波くり」盛大にPR



市制施行65周年記念・綾部「丹波くり」まつり（同実行委員会主催）が26日、宮代町のJA京都にのくに本店前で開催されました。クリの即売は行列ができるほどの大盛況。品評会入賞クリの展示・即売のほか、くりご飯・くりぜんざい・ゆでぐりの販売、丹州材を使った木工教室やビンゴゲームもあり、秋の味覚を求める人でにぎわいました。

本物そっくり「石猫展」



里町の天文館パオは、開館20周年を記念して10月3日から11月8日まで「石猫展」を開催。展示されている58点の「石猫」は、舞鶴市の白川一恵さんが制作したもので、少し離れて見ると本物の猫のよう。初日は井倉町の渡辺さん宅のあたるくんが「猫の1日館長」を務め、来場者をなごませていました。

男女共同参画社会づくり

図画・ポスターコンクール

市は、男女共同参画について理解を深めてもらおうと、図画・ポスターコンクールを開催。小学校から340点（低学年164点、高学年176点）、中学校から185点の計525点の作品が寄せられました。入賞者は次の皆さんです（敬称略）。

キャッチフレーズ賞

川端はづき（東綾中3年）

小学校低学年の部

【最優秀】四方遼華（綾部小1年）
【優秀】生湊琉依（豊里小3年）
▽山本幸歩（同）
【入賞】藤田葵（綾部小1年）
▽藤田真緒（同）
▽吉田迅（西八田小3年）
▽樋口静祈（東綾小1年）
▽大田優音（上林小1年）

【最優秀】松本杏奈（中筋小

～最優秀作品～



出口孝治さん



四方遼華さん



松本杏奈さん

キャッチフレーズ賞
男女共同参画社会
みんなの力で
変えられる
川端はづきさん

4年）【優秀】朝倉杏寿（綾部小4年）
▽大槻心咲（中筋小4年）
【入賞】荒谷太知（綾部小4年）
▽長谷川匠（同）
▽山下夏奈（同）
▽藤

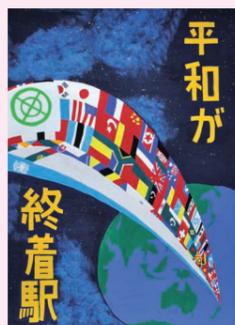
中学生の部

【最優秀】出口孝治（綾部中1年）
【優秀】藤田紗央（綾部中1年）
▽川端はづき（東綾中3年）
【入賞】大槻心響（綾部中1年）
▽村岡夏妃（同）
▽山下恵実（同）
▽山本朋果（同）
▽藤崎智子（上林中3年）

田結方（中筋小4年）
▽松原侑愛（同）

世界連邦推進ポスター・作文コンクール

世界連邦日本大会2015in綾部実行委員会は、今年で24回目となる「世界連邦推進綾部市小・中学生ポスター・作文コンクール」を実施。平和や環境をテーマにポスター408点、作文175点の応募があり、入賞作品各10点を選びました。表彰は10月31日に府中丹文化会館で開催する世界連邦日本大会で行います。入賞者は次の皆さんです（敬称略）。



大槻桃果さん

ポスターの部

最優秀作品

里中1年）▽塩見乃衣（豊里小5年）
▽藤田紗央（綾部中1年）
▽丸岡由征（豊里小5年）
【佳作】大槻麻由子（豊里中3年）
▽奥谷珠凜（物部小6年）
▽四方真鈴（豊里中3年）
▽永井楓華（同1年）
▽林仁夏（同2年）

作文の部

「芽吹け、平和の種」

朝野晃生さん

…人は誰もが「平和の種」を心に宿し、この世に生を受けるのだと思う。言葉も、肌の色も、宗教も、国籍も違う人たちが、その時自分にできる精一杯の行動をしている。そう思った時は、この作文を書いてみる。世界各地で「平和の種」が芽吹くように。今、僕にできる精一杯の思いを込めて。（抜粋）